

第 18 回足利市学校教育環境審議会 会議概要

○日 時 令和 5 (2023) 年 9 月 27 日 (水) 10:00～11:08

○場 所 足利市役所教育庁舎 4 階会議室

○出席者

(1) 委 員 13 名 / 13 名

人見会長、岩田副会長、中島委員、岡村委員、橋本委員、服部委員、高木委員
源田委員、長谷川委員、前田委員、沼田委員、古川委員、高橋委員

(2) 事務局 17 名

田口教育次長

【教育総務課】石井課長、中村総括主幹、亀山主幹、藤生指導主事、川端主任

【生涯学習課】齋藤課長、横田主幹、熊倉社会教育主事

【学校管理課】腰高課長、本田主幹、近藤主幹

【学校給食課】清水課長

【学校教育課】岡部課長、片平主幹、山田主幹

【教育研究所】真下次長

(3) オブザーバー

須藤教育長

株式会社ファインコラボレート研究所 (オンライン参加)

○会議次第

1 開 会

2 議 題

(1) 足利市立小・中学校の学校教育環境の充実に係る答申 (案)
について

3 その他

(1) 答申手交式と今後のスケジュールについて

4 閉 会

○会議の公開について

すべて「公開」

○傍聴者

0 名

○会議録

1 開 会

※会議の公開・非公開について

・議題（1） 公開

2 議題（1）足利市立小・中学校の学校教育環境の充実に係る答申（案）について **公開**

会長 先程の説明の前半は、前回会議後の修正箇所の確認、後半は答申（案）の表紙から目次、構成まですべてをレビューしていただきました。非常にわかりやすかったと思います。答申（案）につきましては、大きな変更はないかと思うんですけれども、小さなことでも結構ですので、お気づきの点がありましたら発言をお願いいたします。

会長 答申（案）29頁冒頭の一段落目の末尾が、「…取り組みが必要とされています。」の部分を「…必要であると考えられます。」に修正する。「…と考えています。」ではなく「…であると考えられます。」でいいんですよね。先程の説明は、2種類混じっていたような気がしました。「…考えています。」となると、本審議会としての主体性が出る。ここは並列的な説明の部分なので、「…必要であると考えられます。」ということで委員の皆様よろしいでしょうか。答申（案）29頁の一段落目の末尾、「…一層の取り組みが必要であると考えられます。」というふうに今日の時点で修正するというご提案でした。提案のとおり修正したいと思います。大丈夫でしょうか。

委員 （異議なし）

会長 答申（案）について、本当に細かく見ていただきまして感謝申し上げます。例えば、通学距離について、「4キロ」「6キロ」と口では言ってしまうんですけれども、「4キロメートル“以内”」というのがないとよろしくない。その辺りも含めて本当に細かく見ていただきました。ご指摘いただいた部分は、すべて反映されていると思いますけれども、いかがでしょうか。

副会長 答申（案）39頁の上から2つ目の丸、「また、令和5（2023）年度現在、小学校2校に複式学級が編制されています。」とありますが、この「編制」という言葉が専門用語だったと思うんですけれども、普通、「編成」というと成人式の「成」であり、これは制度の「制」で意味が少し違います。大丈夫と思いついていたのですが、問題ないでしょうか。

- 事務局 正式なものを確認しましたところ、ここに表記されている「編制」ということですので、それをお願いできればと思います。
- 会長 39頁の上から2つ目の丸、それから同頁(3)の1つ目の丸、2行目にも出てきますけれども、「学級編制」の場合はこちらの制度の「制」ということだということですので、このままでいきたいと思います。
- 会長 事務局には本当に細かい部分まで見ていただきましたので、私たちがこれまで議論してきました諮問事項に、それぞれに対する考え方がわかりやすく表現されていると思います。それではご質問、ご意見等もないようですので、最後となりますが、委員の皆様にお諮りいたします。本日の議題(1)にあります、「足利市立小・中学校の学校教育環境の充実に関する答申(案)」につきまして、本日お手元の資料の内容とさせていただきたいと思いますが、ご了承いただけますでしょうか。
- 委員 (異議なし)
- 会長 ありがとうございます。賛成総意ということで、この(案)を取らせていただきまして、本日この時点で完成とさせていただきます。それでは表紙にあります(案)ですが、完成いたしましたので、各自で(案)をお取りいただきたいと思います。ありがとうございました。
- 会長 委員の皆様のご協力によりまして、答申がまとまりました。この審議会も本日で最後となりますので、これまでの審議会で議論していただきました感想など、委員の皆様からおひとりずついただきたいと思いますが、教員の性で恐縮なのですが、残り時間の関係から1分か2分しかないので、本当にひと言になりますけれども、順番によろしくお願いいたします。
- 委員 改めまして皆様お疲れ様でございました。市議会の方からは、この審議会が立ち上がって、2年半ぐらい、3名の議員がかかわらせていただきました。私は、色々な議論が終わってから、文言などの調整の中でかかわらせていただいたのですけれども、皆様の様々な視点からのご意見がとても勉強になりました。今後、この答申の方が提出をされて、再編に向けた計画が立ってくると思うんですけども、そこからも皆様の意見を私自身もしっかりと受け取って、市議会の立場からもチェックしていきたいと思います。本当にありがとうございました。
- 委員 この審議会に参加させていただきまして、大変いい勉強になりました。まず一番驚いたことは、少子化という言葉は聞いていましたけれども、数字で見て、足利市の現状がこんなにもすごいことなんだということが、改めて確認できた感じがいたします。この子どもの数の減少に対して、将来予測に対して、今後どうしていくのかということとは本当に喫緊の問題だなというのを感じました。この先、国や県の方針がどのように変わってくるか予測ができませんけれど

も、今ここで話し合っておいてよかったのではないかなというふうには思っております。子どもたちのよりよい教育環境ということを中心として第1に考えて話し合っただけで参りましたけれども、今後進めるに当たっては、意見の方にも出ておりましたけれども、保護者、地域、そして学校の先生方の意見を伺って、慎重に進めていただければありがたいなというふうに思っております。やって良かったというふうに評価がいただけるように、この後も進めていただけることに期待をしたいと思います。本当にありがとうございました。

委員

大変お世話になりました。難しい課題で私も色々考えさせられました。委員の皆様の多面的なご意見、そして事務局の考え方をお聞きし、本当にいい機会でした。ありがとうございました。これから本市も、再編に向けた大変な道のりがあるかと思っておりますけれども、どうか子どもたち、未来の子どもたちのためにご尽力いただければ、きっとですね、データを基に丁寧に説明して進めていけば、多くの方は理解し納得してくれると思います。どうぞこれからもよろしくお祈りいたします。お世話になりました。

委員

お世話になります。私は、今年度から委員を務めさせていただいて参りましたけれども、本当に学校行事等の関係で、今回を含め3回程しか、こちらの審議会の方には出席させていただくことができませんでした。自分の役割を十分果たすことができず本当に申し訳なかったなと思っております。初めて出席させていただいたのが、5月24日の第14回の審議会だったのですが、その時に、皆様が子どもたちのためという視点で、熱心に議論を重ねてくださっていたり、これまでいただいた資料もすべて目を通させていただいたのですが、これまで3年間にわたって、丁寧に丁寧に足利の子どもたちのこれからの新しい教育を目指して、どんな形がふさわしいのかということについて議論を進めていただいたことを知り、本当に胸が熱くなりました。日々、子どもたちと直接かかわっている立場にありますけれども、これだけたくさんの方々が子どもたちのために力を尽くしてくださっているということを心に置いて、しっかり子どもたちと向き合っていかなければならないと改めて感じたところです。これからこの答申に基づいて基本計画が策定されますが、そちらの計画に基づきまして、学校としてもやるべきこと、できることをしっかり子どもたちのためにやっていけたらと思っております。これからも色々な面でご指導ご協力いただくとありますが、どうぞこれからもよろしくお祈りいたします。大変お世話になり、ありがとうございました。

委員

大変お世話になりました。私は4月から中学校長会の代表ということで、出席させていただきました。3年前に中学校長になってから中学校校長会でも、生徒の減少による教員不足や部活動問題等々を中心に話をしてきまして、抱える問題もたくさんありました。ここで統合という1つの問題を軸として、色々な面から子どもの将来を支えることが話し合われていて、ただ統合するだけではなくて、今抱えているたくさんの方が、ここで解決に向けて話し合われてい

ることを知って、将来の子どもたちに寄り添った教育が、こういった場があるからできるんだなということを切実に感じました。本当にありがとうございました。

委員

お世話になりました。私もこの審議会が立ち上がった当初から、小・中学校のPTA連合会の役員の1人として、立場で参加させていただきました。どうしても家庭の立場で、一応、保護者の立場で申し上げる発言が多かったかもしれませんが、記憶をたどると何度かPTAの会議でも、この場の詳細はもちろん申し上げませんが、色々な関係の方がこれからの子どもたちのために色々なことを考えているんだということを発言させていただく場がありました。これからどういう方向でというのが、今日示されましたけれども、保護者の立場で、今は子どもがいない家庭の方が圧倒的に多い、そういう中で地域と色々なことを連携して、地域の一員としても色々な協力がしていければと強く感じているところでございます。2年半でしょうか。この会が終わるのは寂しい思いもありますけれども、また色々な立場で頑張っていければと思っております。微力ながらご協力させていただいたつもりです。大変お世話になりました。ありがとうございました。

委員

皆さんお疲れ様でございました。私も今年から委員になりまして色々勉強させていただきました。子どもたちのためにという考え方で常日頃をやっているつもりですが、実際にはこういった教育を子どもたちのためにではなく、足利のために足利の子どもたちのためにというふうに視点を広くして、大局を見つめるなんていうと少し大げさかもしれませんが、そういった視点で見て、そこから段々と保護者としてのところに落ちていく。皆さんが自分のわがままというか、思いだけではなく、足利という視点から見ていくことが大変必要になってくると実感しております。本当に子どもたちのために皆さんがこうやって真剣に考えてくださっている姿は、本当に心に沁みました。本当にいつもありがとうございます。

委員

私は幼稚園PTA連合会の保護者の立場で参加させていただきました。足利市の場合は、小学校は公立しかないのです、やはり足利市にお願いをする以外の選択肢がありません。なるべく早い段階で、うちの子は年長の学年で来年度から小学校に上がります。再編であるとか、教育の質の向上であるとか、なるべく早くやるならやっていただきたいんですね。小学校が終わった後に始まっても、意味がなくなってしまうので。再編などをやる時というのは色々中身をいじるのがとてもやりやすい時期だと思います。この前、北海道の小中一貫校を新しく作ったところを視察に行くことがあったんですけど、そこは小中学校なのに、年齢にかかわらず、町の誰もが使える施設になっていて、地域にとっても開かれた施設になって、今までの小中学校の授業の形態ではなく、教室に正面がなく、前に黒板があってみんなそっちを向いているという教室ではなく、次世代の形になっていました。そのように先進的にやっているところがありますので、何かやる際には大いに参考にして、足利市もさらに充

実した教育ができるような環境になればと期待しております。お疲れ様でした。

委員 皆様、色々とお世話になりました。令和3年2月から保護者の代表ということで参加させていただきました。皆さん、お話するプロの前で他の市民がお話しするのは、とても緊張しているんですけども、保護者の代表ということで参加させていただいたからには、保護者として何か1つ意見を言って帰ろうという気持ちで、言えなかったとか、もやもやした気持ちでこの会を終わらして、午後、仕事に行く道中で後悔しないように、何か1つでも話していこうという気持ちで2年半臨んできました。難しい言葉もありましたので、色々自分の気持ちを話していく中、会長である人見先生の方から色々汲み取っていただいて、私の意見をまとめていただいてとてもスッキリした気持ちで、そのまま仕事に行くことができました。とても大切なことを色々学ばせていただいて、末っ子がちょうど令和元年12月に生まれており、この教育理念が定まった時と同じ月になります。その子が今年、年少さんになります。うちの末っ子もあと少しで小学生になります。このお話で決まったことが、少しでもこの子が小学校にいる間に、あと少ししかないかと思うんですけども、少しでも子どもたちにいい環境が残せるように、私はここまでしかできないと思います。今後は一般市民として、足利市を見守っていければと思います。皆さんは、これからも続くと思うんですけども、足利市の子どもたちのことをよろしく願います。今までありがとうございました。

委員 2年半にわたりまして色々勉強させてもらい、本当ありがとうございました。出身母体の青少年育成会は、子どもたちをお預かりして、色々地域でもって社会体験活動させようとしておりますので、今回、審議会の中で数的なものが減少しているというのは感じてはいたんですけど、本当にこの推計というのを見て愕然としました。そして、これを生かして今後は、地域で、足利市全体の青少年育成会というものがどういうふうにしていくべきかということも勉強になったと感じております。小規模校の名草小学校や大規模校の山前小学校、小規模特認校の第一中学校、そして義務教育学校、色々見させていただいて、はじめ小規模校の名草小学校を見に行った時には、そのよさというのを感じて、「小規模校はいいんじゃない」と思ったんですけども、あそ野学園を見させていただいて、「やはり将来的にはこう行くのが本当なんだな、そして子どもたちが、こういう発達をするのが大事なんだな」ということを勉強させていただきました。これからも社会教育者として皆さんとともに、色々子どものために、役立てればいいな、そんなふうに考えております。また色々勉強させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員 皆さんありがとうございました。私からは3つほど感想を述べさせてもらいたいと思っております。1つ目は、この審議会の審議を通して、この答申の裏側に、様々な課題が見えるということを感じまし

て、それを解決していく努力を教育委員会の皆さんがされているという思いに至りまして、本当にそのご労苦に感謝申し上げたいというのが1つ目です。それから2つ目は、答申ありきということで、説得をするという立場をぜひ避けていただきたい。説明会がこれからあると思いますけれども、ぜひ皆さんの意見を柔軟に受けとめて、丁寧な説明をしていただきたいというのが2つ目です。それから3つ目ですが、私はいつも極端なことを考えていまして。これほど人口減少が起こっていて、国単位で少子化が叫ばれています。例えば、足利市に1校しか学校ができませんということ考えたとしても、これは将来的に都市計画と大きく関わってくる問題になってくるだろうと思うので、今後、教育委員会でも都市計画の中での教育環境づくりというものもシミュレーションしていただくと、今の課題の中でこの答申を説明する時に、皆さんの気持ちが少しでもわかり合える立場になっていくのではないかと、そんなことも考えました。今回参加させていただきまして大変お世話になりました。ありがとうございました。

副会長 約3年間、委員の皆様には、視察も含め18回にわたって議論を進めてきたわけですが、大変ありがとうございました。特に私は副会長という立場を仰せつかったわけですが、会長、委員の皆様に対して、私自身、至らなかつた点が多々あったと反省しております。そこで少子化の流れの中で、児童生徒数の減少は全国、そして足利も同じような状況であります。このことを踏まえて検討してきたわけですが、まずは現在の子どもたちに、さらに将来の子どもたちにとってよりよい学校の教育環境はどうあるべきなのかということの議論だったと振り返っております。今後、審議会の答申を踏まえ、足利市教育委員会あるいは足利市の市長部局が全小中学校、保護者、地域住民、市民と具体的なレベルでより丁寧な議論、協議を進めていただければと願っております。ぜひ子どもたちが「目指すべき子ども像」に近づけられるよう、よりよい学校教育環境を具現化していただければありがたいと思います。大変お世話になりました。

会長 皆様、本当にありがとうございました。この後、手交式でスピーチの時間がありますので、この場では、本当にご協力いただいたことに感謝申し上げますとだけとさせていただきます。本当にご協力ありがとうございました。

3 その他（1）答申手交式と今後のスケジュールについて 公開

事務局 事務局より答申手交式と今後のスケジュールについて説明。

4 閉 会